



新年のご挨拶

『「住まう」に、寄りそう。』を目指して

一般社団法人
全国賃貸不動産管理業協会
会長 佐々木正勝

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員各位におかれましてはお健やかに新年をお迎えのことと大慶に存じます。

昨年、関係各位におかれましては全宅管理の各種事業に深いご理解とご協力により、円滑な組織運営ができましたことに衷心より感謝申し上げます。

昨今の不動産業界で賃貸管理に関しては、今年度より本会で事前講習の運営を行った「賃貸不動産経営管理士」資格試験の昨年の受験申込者が25,000人を超え、今まで以上に資産の管理・運用に関する知識や技術・能力を高めたいという方が増加しております。

また、法令改正関係につきましては、4月に迫った改正民法施行への対応は勿論、出入国管理及び難民認定法(入管法)改正に伴う対応、住宅セーフティネット制度への対応も引き続き必要であると考えます。

このような状況の中、全宅管理は賃貸不動産管理業のプロ集団として、本会スローガン『「住まう」に、寄りそう。』の下、地域社会への貢献、賃貸不動産管理業の適正化に向けた取り組みを実施してまいりました。

賃貸不動産管理業の適正化に向けた具体的な取り組みの一つとして、国土交通省が開催する「民間賃貸住宅の計画修繕の推進方策に関する検討会」等の会議に委員を派遣し、意見具申を行いました。

また、「賃貸住宅フェア2019in東京」に出展し、本会

の事業案内を行うとともに、業界団体セミナー会場において「空き家問題」「不動産テック」に関する講演を行い、多くの方にご聴講いただきました。

さらに、新たな会員向けクラウド型賃貸管理ソフト「ReDocS」の紹介を昨年9月より開始したところ、大変多くの反響をいただきました。

会員の資質向上を目的とした会員研修については、2018年11月より本会ホームページ上でスタートした「インターネット・セミナー」において常時500タイトル以上の研修動画を提供し、さらに本会オリジナルの研修動画も追加してコンテンツの充実を図ったところ、前年と比較して4倍以上の閲覧数となりました。

また、研修事業の一環として、各地域における会員同士の意見交換・交流の促進を目的に「タウンミーティング」を岡山県、三重県、青森県、香川県において開催いたしまして、各地でご好評をいただきました。

会員数が6,200社を超え、昨年は千葉県支部が設立、富山県支部設置の承認がなされ、来年度からは全国23支部体制となります。今後も更なる強靱な組織の確立に向けた事業展開を図るとともに、関連団体と連携のうえ、賃貸不動産管理業の適正化に向け、国土交通省等関係機関とも協議を重ねてまいります。

最後に、皆様方のますますのご繁栄とご健勝をお祈り申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。